

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行や教職員の働き方改革により、今まで行ってきた行事の見直しが求められている。本校では行事の精査、見直しをしつつも生徒にとってよりよい学校づくりを目指している。今回はその学校行事の一部について紹介する。

2 資料

(1) 市内総体壮行会・部活動パレードについて

本校では例年 9 月の体育祭で部活動パレード、部旗引継式を実施していたが、業務改善、コロナ禍による体育祭の規模縮小等により部活動パレードを中止していた。しかし、保護者と生徒から開催の要望があり、内容を再考した上で今年度復活させた。

開催時期は、市内総体前の壮行会に合わせて 6 月に実施した。既存の行事と合わせることで業務の負担を軽減した。また、屋外実施により感染症対策にもなり、保護者を招いて開催することができた。生徒にとって自分たちの総体に向けた意気込みを周囲に知ってもらう良い機会となった。

(2) 文化祭について

本校では文化祭を「潮風祭」と称し、午前中に文化発表、午後に合唱コンクールの 1 日開催で行ってきた。コロナ禍になり、令和 3 年度は合唱コンクールのみの半日開催となった。

本年度は、生徒の文化発表の場の充実、自主性、創造性の向上という目的のもと、1 日開催で行った。感染症対策のため、実行委員の人数を制限したり、保護者の参観を合唱コンクールのみとし、さらに子どもが所属する学年の発表に限定したりした。業務の効率化のために、夏季休業中から計画の立案、会議での検討を重ねた。当日は生徒たちが個性を十分に発揮する充実した 1 日となった。



資料 1 部活動パレードの様子



資料 2 文化祭の様子

3 成果と課題

- ・生徒の頑張りを保護者が見る機会が増えたことで、生徒が充実感を味わうことができた。
- ・他の行事と同時開催したことで業務の効率化を行うことができた。
- ・時間に余裕をもって計画することで生徒が企画・立案する時間を確保し、自分たちでやり遂げたという達成感を味わうことができた。
- ・職員間での共通理解や役割の分担が上手くいかないことがあった。起案や職員会議を通してしっかりと職員間で内容を共有していく。